

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2009-80673(P2009-80673A)

【公開日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2007-249828(P2007-249828)

【国際特許分類】

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 19/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月16日(2010.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部装置との通信を行う複数の通信手段と、

前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段とは異なる第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受信した場合、前記第 2 のコマンドの内容に基づいて前記第 2 のコマンドに対する処理方法を判定する判定手段と、

この判定手段により判定した処理方法に基づいて前記第 2 のコマンドを処理する処理手段と、

を有することを特徴とする携帯可能電子装置。

【請求項 2】

前記判定手段は、前記第 2 のコマンドの内容として、前記第 2 のコマンドの種別、あるいは、前記第 2 のコマンドの指定パラメータに基づいて、前記第 2 のコマンドに対する処理方法を判定する、

ことを特徴とする前記請求項 1 に記載の携帯可能電子装置。

【請求項 3】

外部装置との通信を行う複数の通信手段と、

前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段とは異なる第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受信した場合、前記第 1 のコマンドの内容に基づいて前記第 2 のコマンドに対する処理方法を判定する判定手段と、

この判定手段により判定した処理方法に基づいて前記第 2 のコマンドを処理する処理手段と、

を有することを特徴とする携帯可能電子装置。

【請求項 4】

前記判定手段は、前記第 1 のコマンドの内容として、前記第 1 のコマンドの種別、あるいは、前記第 1 のコマンドの指定パラメータに基づいて、前記第 2 のコマンドに対する処理方法を判定する、

ことを特徴とする前記請求項 3 に記載の携帯可能電子装置。

【請求項 5】

外部装置との通信を行う複数の通信手段と、

前記複数の通信手段のうち第１の通信手段により受信した第１のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第１の通信手段とは異なる第２の通信手段により第２のコマンドを受信した場合、前記第１のコマンドの内容および前記第２のコマンドの種別に基づいて前記第２のコマンドに対する処理方法を判定する判定手段と、

この判定手段により判定した処理方法に基づいて前記第２のコマンドを処理する処理手段と、

を有することを特徴とする携帯可能電子装置。

【請求項６】

前記判定手段は、前記第１のコマンドと前記第２のコマンドとの組合せとして、前記第１のコマンドの種別あるいは前記第１のコマンドの指定パラメータと、前記第２のコマンドの種別あるいは前記第２のコマンドの指定パラメータとに基づいて、前記第２のコマンドに対する処理方法を判定する、

ことを特徴とする前記請求項５に記載の携帯可能電子装置。

【請求項７】

前記判定手段は、処理方法の１つとして、前記第２のコマンドの受付けを不可するか否かを判定し、

前記処理手段は、前記判定手段により前記第２のコマンドの受付を不可とすると判定された場合、前記第２の通信手段により前記第２のコマンドの送信元に対して前記第２のコマンドが処理不可である旨を送信する、

ことを特徴とする前記請求項１乃至６の何れかに記載の携帯可能電子装置。

【請求項８】

前記判定手段は、処理方法の１つとして、前記第１のコマンドの処理を中断して第２のコマンドを実行するか否かを判定し、

前記処理手段は、前記判定手段により前記第１のコマンドの処理を中断して前記第２のコマンドを実行すると判定された場合、前記第１のコマンドに対する処理を中断し、前記第２のコマンドに対する処理を実行する、

ことを特徴とする前記請求項１乃至７の何れかに記載の携帯可能電子装置。

【請求項９】

前記判定手段は、処理方法の１つとして、前記第２のコマンドを実行待ち状態とするか否かを判定し、

前記処理手段は、前記判定手段により前記第２のコマンドを実行待ち状態とすると判定された場合、前記第１のコマンドの処理が完了した後に、前記第２のコマンドに対する実行する、

ことを特徴とする前記請求項１乃至８の何れかに記載の携帯可能電子装置。

【請求項１０】

外部装置との通信を行う複数の通信手段と、

前記複数の通信手段のうち第１の通信手段により受信した第１のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第１の通信手段とは異なる第２の通信手段により第２のコマンドを受信した場合、前記第２のコマンドのコマンドデータを実行待ちのコマンドデータとして順次記憶する記憶手段と、

前記実行中の第１のコマンドの処理が完了した場合に、前記記憶手段に記憶されているコマンドデータに応じた処理を順に実行する処理手段と、

を有することを特徴とする携帯可能電子装置。

【請求項１１】

外部装置との通信を行う複数の通信手段を有し、それらの通信手段により外部装置から受信したコマンドに応じた処理を行う携帯可能電子装置に用いられるコマンド処理方法であって、

前記複数の通信手段のうち第１の通信手段により受信した第１のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第１の通信手段とは異なる第２の通信手段により第２のコマンド

を受付け、

前記第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受信した場合、前記第 2 のコマンドの内容に基づいて前記第 2 のコマンドに対する処理方法を判定し、

この判定した処理方法に基づいて前記第 2 のコマンドを処理する、
ことを特徴とする携帯可能電子装置におけるコマンド処理方法。

【請求項 1 2】

外部装置との通信を行う複数の通信手段を有し、それらの通信手段により外部装置から受信したコマンドに応じた処理を行う携帯可能電子装置に用いられるコマンド処理方法であって、

前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段とは異なる第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受付け、

前記第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受信した場合、前記第 1 のコマンドの内容に基づいて前記第 2 のコマンドに対する処理方法を判定し、

この判定した処理方法に基づいて前記第 2 のコマンドを処理する、
ことを特徴とする携帯可能電子装置におけるコマンド処理方法。

【請求項 1 3】

外部装置との通信を行う複数の通信手段を有し、それらの通信手段により外部装置から受信したコマンドに応じた処理を行う携帯可能電子装置に用いられるコマンド処理方法であって、

前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段とは異なる第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受付け、

前記第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受信した場合、前記第 1 のコマンドの内容および前記第 2 のコマンドの内容に基づいて前記第 2 のコマンドに対する処理方法を判定し、

この判定した処理方法に基づいて前記第 2 のコマンドを処理する、
ことを特徴とする携帯可能電子装置におけるコマンド処理方法。

【請求項 1 4】

外部装置との通信を行う複数の通信手段を有し、それらの通信手段により外部装置から受信したコマンドに応じた処理を行う携帯可能電子装置に用いられるコマンド処理方法であって、

前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段とは異なる第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受付け、

前記第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受信した場合、前記第 2 のコマンドのコマンドデータを実行待ちのコマンドデータとして記憶手段に順次記憶し、

前記実行中の第 1 のコマンドの処理が完了した場合に、前記記憶手段に記憶されているコマンドデータに応じた処理を順に実行する、

ことを特徴とする携帯可能電子装置におけるコマンド処理方法。

【請求項 1 5】

外部装置との通信を行う複数の通信手段と、前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段により受信した第 1 のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第 1 の通信手段とは異なる第 2 の通信手段により第 2 のコマンドを受信した場合、前記第 2 のコマンドの内容に基づいて前記第 2 のコマンドに対する処理方法を判定する判定手段と、この判定手段により判定した処理方法に基づいて前記第 2 のコマンドを処理する処理手段とを具備するモジュールと、

前記モジュールを具備する本体と、
を有することを特徴とするＩＣカード。

【請求項１６】

外部装置との通信を行う複数の通信手段と、前記複数の通信手段のうち第１の通信手段により受信した第１のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第１の通信手段とは異なる第２の通信手段により第２のコマンドを受信した場合、前記第１のコマンドの内容に基づいて前記第２のコマンドに対する処理方法を判定する判定手段と、この判定手段により判定した処理方法に基づいて前記第２のコマンドを処理する処理手段とを具備するモジュールと、

前記モジュールを具備する本体と、
を有することを特徴とするＩＣカード。

【請求項１７】

外部装置との通信を行う複数の通信手段と、前記複数の通信手段のうち第１の通信手段により受信した第１のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第１の通信手段とは異なる第２の通信手段により第２のコマンドを受信した場合、前記第１のコマンドの内容および前記第２のコマンドの種別に基づいて前記第２のコマンドに対する処理方法を判定する判定手段と、この判定手段により判定した処理方法に基づいて前記第２のコマンドを処理する処理手段とを具備するモジュールと、

前記モジュールを具備する本体と、
を有することを特徴とするＩＣカード。

【請求項１８】

外部装置との通信を行う複数の通信手段と、前記複数の通信手段のうち第１の通信手段により受信した第１のコマンドを処理中に前記複数の通信手段のうち第１の通信手段とは異なる第２の通信手段により第２のコマンドを受信した場合、前記第２のコマンドのコマンドデータを実行待ちのコマンドデータとして順次記憶する記憶手段と、前記実行中の第１のコマンドの処理が完了した場合に、前記記憶手段に記憶されているコマンドデータに応じた処理を順に実行する処理手段とを具備するモジュールと、

前記モジュールを具備する本体と、
を有することを特徴とするＩＣカード。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】携帯可能電子装置、ＩＣカード、および携帯可能電子装置におけるコマンド処理方法